

# 光のまちづくり推進委員会について

第4回水と光のまちづくり推進会議資料  
平成27年1月23日

資料2-2

発足 2003年(平成15年)～

## 委員長

橋爪紳也 氏(大阪府立大学教授)

## 事務局

・関西電力(株) ・関西経済連合会

## 委員構成

- ・武蔵野美術大学客員教授  
面出氏  
他学識経験者 1名
- ・大阪府
- ・大阪市
- <オブザーバー>
- ・近畿運輸局
- ・近畿地方整備局

- ・関西経済連合会
- ・大阪商工会議所
- ・水都大阪パートナーズ
- ・民間企業 14社
- ・まちづくり団体 1社
- ・東横堀川・堂島川ライティング実行委員会

## ガイドライン部会

<活動内容>  
2020構想第2編に基づいた  
ガイドラインの作成

## ライトアップ調整部会

<活動内容>  
ライトアップ実施所管箇所相互間  
の意見交換

## プロモーション部会

<活動内容>  
光のまちづくりの取組みを  
広く周知するための活動

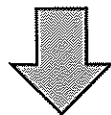
## 方向性

## 水と光の首都・大阪を目指して

国内外へ発信する大阪らしい光のまちづくり

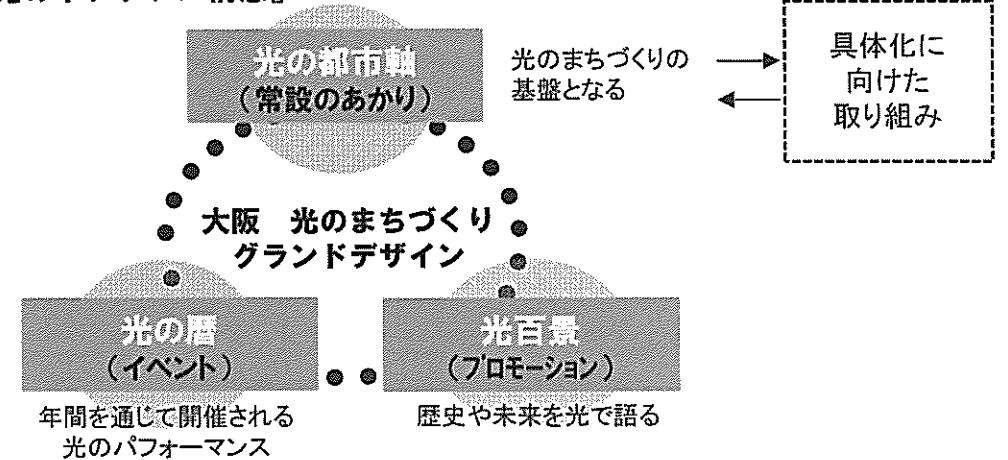
## 活動内容

- ①官民の力を結集した圧倒的な光景観の形成
- ②大阪光のまちづくりに関する基本計画の策定
- ③光景観に関するルールづくり
- ④ライトアップ設備所有者間における協力体制の構築
- ⑤光のまちづくりのプロモーション活動の実施



2010年「光のまちづくり2020構想」策定

## 『光のネックレス構想』



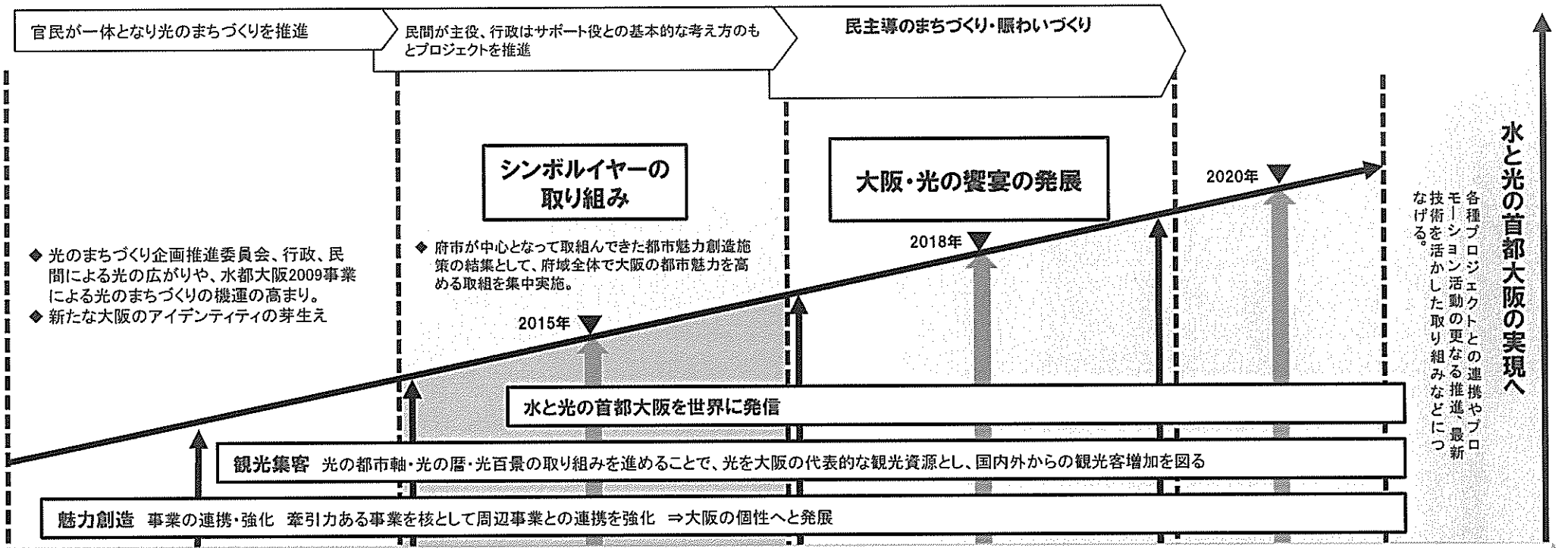
# 光のまちづくり2020構想アクションプランについてー1

- 光の都市軸 (常設のあかり)
- 光の暦 (イベント)
- 光百景 (プロモーション)
- 具体化に向けた取り組み

●「日常」と「非日常」2つの視点で光景観づくりを推進

魅力的なあかりの更なる蓄積・意識向上

**大阪・光の都市博(仮称)**  
 これまで積み重ねてきた光のまちづくりの魅力、を一同に集め、国内外に広く知ってもらう取り組み。

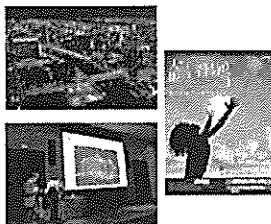


【背景】水と光のまちづくり推進に関する基本方針 >>> **水と光の首都大阪へ** >>> 国内外へ発信する大阪らしい光のまちづくり

<p><b>第1フェーズ</b> 2010年～2013年</p>	<p><b>第2フェーズ</b> 2014年～2016年</p>	<p><b>第3フェーズ</b> 2017年～2019年</p>	<p><b>2020年</b> 大阪万博50周年 ・東京オリンピックイヤー</p>	<p><b>2020年以後</b></p>
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---	-----------------------

大阪・光の都市博(仮称)の取り組みに向けて第2・第3フェーズを検討

## 第2フェーズアクションプラン 《ランドデザイン別 取り組み方針》

ランドデザイン	第1フェーズ ～2013年	第2フェーズ 2014年～2016年		第3フェーズ 2017年～2019年
	取り組み	第2フェーズに向けた取り組み方針と方向性		方向性
<b>光の都市軸</b> (常設のあかり)	中之島及び御堂筋を重点エリアとして、新たなライトアップ整備や美しいまちなみ創造の流れを確立。	1) 重点エリアの抽出 ・整備推進	① 中之島エリアの強化・光の回廊エリアへの拡大 ② 御堂筋エリアの夜間景観誘導の強化 ③ 民間開発エリアとの連携を推進	● 第2フェーズの取り組みをふまえた重点エリアの整備推進
<b>光の酒</b> (イベント)	四季折々のイベントの定着が進み、特に「大阪・光の饗宴」では官民が一体となり大阪の冬の風物詩として強化。	1) 大阪・光の饗宴等、牽引力のある事業と連携した新たなプログラムの創出と既存プログラムの強化	① 秋の光のイベント「光の文化祭(仮称)」を水都大阪2015、水と光の大文化祭(仮称)に合わせて開催検討 ② 冬の光のイベント「大阪・光の饗宴」の強化	● 光プログラムの充実・拡大 ● シンボルプログラムの創出 ● 事業の自立性の向上 ● 事業体制の確立 ● エンターテインメント性の強化、多文化との共生
● イベントとプロモーションの一体化	LUCIを活用した海外PR、都市交流などが活性化され、ウェブも刷新されるなど発信力が強化。	1) LUCIなど海外及び国内との交流及び発信力強化	① LUCIでの活動を積極的に発信 ② LUCI総会の大阪誘致に向けた取り組み ③ 関西、国内各都市との交流継続	● プロモーション強化継続 ● LUCI総会、全国あかりサミットの誘致活動
<b>光百景</b> (プロモーション)		2) 多様なニーズに即した光観光プログラムの開発と発信	① 整備された光景観を観光資源として積極的に情報発信 ② 夜間景観まちあるきプログラムの推進・新光百景アワードの選定	
		3) 大阪光のまちづくり2020構想のPR強化	① webの積極的活用 ② 光のまちづくり10周年記念書籍の発刊	



具体化に向けた取り組み	▼方針整理	▼具体的なアクション
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 官民協働による光のまちづくりの推進</li> <li>● 光のメンテナンスマネジメント</li> </ul>	<p>1) 維持メンテナンスマネジメントの推進(安全、省エネ、LEDサイクルを考慮した維持管理)</p> <p>2) 情報交換会・研修会・勉強会の開催</p> <p>3) アドバイザー機能の推進(体制づくり)</p>	<p>① LEDIに関する勉強会・研修会等の開催</p> <p>② 持続可能なビジネスモデルの検討(リース、民間参加型など)</p> <p>① 照明、制御、発電・蓄電などの最新技術(スマートテクノロジー)に関するメーカーなどとの勉強会</p> <p>② エリアにおける勉強会</p> <p>① 新規及び既存ライトアップとの調和といったデザイン、技術に関するアドバイスや調整機能を持った体制づくりに向けた仕組みの推進</p>
		<p>発展的継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マンテナマネジメント計画・展開</li> <li>● 維持管理PDCAサイクル構築</li> <li>● 少ないエネルギーで良質な夜間景観形成</li> <li>● 安全・防犯の観点の導入</li> </ul> <p>● アドバイザーチームの編成</p>

## 光のグランドデザイン～第2フェーズのポイント

### 光の都市軸(常設のあかり)

【第2フェーズ:重点エリアの抽出・整備推進～今後の方向性】

- 第1フェーズと同様に、5つのエリアに分類し特徴を活かした光景観を創出。
- エリア内の光景観の連携を強化するなど、より効果的な夜間景観の向上に取り組む。

《エリア別の方向性(概要)》

【川口】中之島都心ビル群を際立たせる静謐な夜間景観の形成／【西部】官民一体となった光景観の創出／【中央】「光の首都大阪」のファサード～玄関口として位置づけ、ゾーンを更に細分化しそれぞれの場所に即した光景観づくりを促進／【中之島公園】中之島公園の光景観改善の検討／【八軒家浜】未整備区間の整備及び既存プログラムを活用した演出

